

■ 目次 ■	
思いは現実になる.....	(1)
令和7年度.....	(2)
北多摩東地区保護司会定期総会報告.....	(2)
東京保護観察所立川支部 着任のご挨拶.....	(3)
春の褒章.....	(3)
新会長・新分区長挨拶.....	(4)
更生保護女性会活動報告.....	(4)
桐友会だより.....	(4)
北多摩東BBS会.....	(5)
第Ⅰ期 地域別定例研修について.....	(5)
コラム「窓」.....	(6)
ぶんくつピックス.....	(7)
社会を明るくする運動.....	(8)
80年前の夏.....	(8)
退任保護司.....	(8)
新広報部員紹介.....	(8)
編集後記.....	(8)



令和7年度 第1号



思いは現実になる

東京保護観察所立川支部長 吉原 直深

先日、日本百名山の一つである平ヶ岳に登ってきた。平ヶ岳は新潟県と群馬県の境にそびえる山で、山上には高層湿原が広がり、楽園のような美しい景色を楽しめる山だ。

平ヶ岳に登るには、通常は往復10時間以上かかるメインルートを進むのだが、最近、体力の低下を実感する私は、宿の送迎を利用するショートコースを選んだ。このコースは「プリンスルート」と呼ばれ、現在の天皇陛下が皇太子時代に登られたルートだそう。

さて、数日前から天気予報とにらめっこをしていたのだが、当日の天気は雨または曇りですつきりしない。それでも「何とかなるだろう。大丈夫。」と思いながら、前泊先の宿に到着した。

翌朝の出発時間は早朝3時50分。20時30分頃には床についたものの、夜中の0時頃には激しい雨で目が覚め、うとうとしながら朝を迎えた。

当日朝の天気予報は曇り時々雨。「大雨にはならないだろう。

大丈夫。」と思いながらも、しっかりと雨具を備え、いざ出発。

そして、5時30分頃に登山口に到着。すると、厚い雲の隙間から青空が見え隠れし、天気回復に期待が高まる。「きつと晴れてくるだろう。大丈夫。」と思いながら、きつい山道を一步一歩登り切った。

結果、下山まで雨にはほとんど降られなかった。晴天とはいかなかったものの、しっかりとした山上の空気に身を置きながら、下界では時期を過ぎたシャクナゲの彩りやウグイスの鳴き声を楽しんだ。

今回のように、いつでもどこでも期待どおりの結果が得られるわけではないものの、「思いは現実になる」というのは本当だと思う。悪いイメージを抱いていると、何だか現実もそちらに引つ張られてしまいくさうだ。

樂觀的といえればそれまでだが、仕事も遊びもいい結果をイメージしながら、これからの人生をより豊かに楽しく過ごしていきたい。

令和7年度 北多摩東地区保護司会定期総会報告

4月17日午後2時より武蔵野スイングホールスカイルームにて定期総会が開催されました。

村雲総務部長により司会進行され、望月会長、東京保護観察所立川支部吉原支部長あいさつに続き来賓祝辞・紹介へと進み、議長に大野寿美子さん・副議長星野智樹さんが選出され議事に入りました。

議案第一号 令和6年度活動報告

議案第二号 令和6年度収支決算ならびに令和6年度特別会計収支決算書の認定及び監査報告について

議案第三号 役員改選(案)について

議案第四号 令和7年度活動計画(案)について

議案第五号 令和7年度収支予算(案)ならびに

令和7年度特別会計収支予算書(案)について

以上を審議し承認されました。

新役員の紹介があり、代表として高橋新会長の挨拶があり、須藤副会長の閉会挨拶で定期総会閉会になりました。

なお、閉会後に同施設レインボーサロンにて懇親会が開催されました。

定期総会の準備・設営にご協力ご支援くださった総務部員と事務局の皆さまに感謝申し上げます。

(総務部長 木川 憲子)



東京保護観察所立川支部 着任のご挨拶

主任保護観察官 樺澤 貴子



北多摩東地区保護司会の皆様こんにちは。

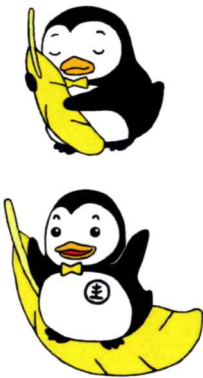
ご縁がありまして、国分寺分区を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひします。

国分寺分区の主任官として、

定期駐在や定例会、各種行事の機会を活用して、地域の状況をお聞きしたり、保護観察対象者の処遇に関しての意見交換や協議等を行っていきたいと思っております。様々な場面でご協力をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願ひします。

夏の疲れが出てくる時期ですので、無理せず心と体の健康を大切に活動いただきますようお願いいたします。

夏



主任保護観察官 武内 渉



本年4月1日付けで立川支部に着任しました、武内渉と申します。

出身は兵庫県宝塚市で、社会人3年目の約10年前に転勤のため引越してきて以降ずっと関東地方に住んでおりますため、基本的には標準語ベースで、時々思い出したかのように関西弁が混じりながら話をするようになってしまいました。

縁あって、現在は武蔵野・小金井・三鷹の3分区を担当しております。

今後開催する定例研修等では、当職がお話をさせていただきますこともありますが、その際は(おそらく)関西弁が混じった標準語で話してしまうことをご容赦いただければと思います(お聞き苦しいかもしれませんが……)。申し訳ございません……。どうぞよろしくお願ひいたします。

春の褒章

※瑞宝双光章

国分寺分区 尾崎 幸信氏



※藍綬褒章

三鷹分区 三橋 優子氏



春の褒章において、尾崎幸信氏（国分寺分区）が、瑞宝双光章の栄に浴されました。

尾崎氏は、平成9年保護司を拝命、27年にわたり多くのケースを担当する傍ら、当保護司会の総務部長、国分寺分区副分区長として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

春の褒章において、三橋優子氏（三鷹分区）が、藍綬褒章の栄に浴されました。

三橋氏は、平成16年保護司を拝命、21年の永きにわたり更生保護活動に従事し、当保護司会の会計理事、三鷹分区の副分区長として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

会長就任のご挨拶

北多摩東地区保護司会

会長 高橋 豊



北多摩東地区保護司会の会長を務めることになりました。高橋豊です。

微力ではありますが、北多摩東地区保護司会の皆様のご支援ご協力をいただきながら、大役を精一杯努めてまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

分区長就任のご挨拶

武蔵野分区 分区長 村雲 祐一



本年4月より北多摩東地区保護司会武蔵野分区長となりました村雲祐一です。

15年ほどの保護司活動中には、地域活動部長・研修部長そして前年度までは総務部長の役職を経験させていただきました。保護司として対象者と接することの難しさ

を実感することも多々ありました。

元対象者と市中で偶然出会ったときに声を掛けられ元氣そうに挨拶されたことがあります。ほんの少しの会話だけでも現在の状況が読み取れ、大きな感動がわいてきたことが思い出されます。保護司活動の大切さに気付いた出来事でした。

武蔵野分区長としての活動を通して分区員のみならず、北多摩東地区保護司会の発展に努めていきたいと思っています。

三鷹分区 分区長 須藤 利一



4月の11日の定例総会で新しく分区長に選任された須藤利一

と申します。

これまで先輩保護司の築き上げられた分区の実績を大切にしながら、分区の新人保護司の発掘と保護司会活動の活性化を図っていければと思います。

微力ではありますが分区長の大役を精一杯努めたいと思います。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

更生保護女性会活動報告

北多摩東地区更生保護女性会

会長 長谷部 豊子



「社会を明るくする運動」が第75回を迎えます。また、昨年オランダ・ハーグで行われた第2回世界

保護司会議で、4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が採択さ

れ、今年はそれを記念して都庁都民広場に集まり、式典及びパレードが行われました。東更女連盟として100名ほどの会員が参加し、更生保護に関わる皆様とシンボル



カラーの黄色いスカーフを身に付け、警視庁音楽隊とともに笑顔で行進しました。このような機会を重ね、更生保護の理解が促進するよう願います。

5月19日北多摩東地区更生保護女性会総会を開催しました。今年度は、401名の会員向けに講演会等を計画しています。また、各分区更生保護団体の皆様とともに明るい社会づくり活動をしていきますので、よろしく願います。

桐友会だより

北多摩東地区桐友会会長 森田 忠男



本年3月12日
(月)2時より、
小金井市民会館
で北多摩東桐友
会総会が開催さ

れました。総会には多摩地区保護司会連絡協議会・小山茂顧問、北多摩東地区保護司会から高橋豊会長をはじめ副会長(四市分区長)及び北多摩東地区更生保護女性会から、長谷部豊子会長が出席され、それぞれ祝辞をいただきました。

総会は例年通り、事業、会計関係の審議、決議がなされました。

本年は役員改選の年でした、本木治子会長から不肖、私が会長につきました。又、各地区の世話人は次の通りです。

世話人 中村 扶佐子(武蔵野)

世話人 林 邦子(三鷹)

世話人 千本木 勘博(小金井)

会長/世話人 森田 忠男(国分寺)

なお、東京桐友会も役員改選があり、理事に當間光様(小金井)にお願いいたしました。

山代法道前理事、長い間ありがとうございました。

北多摩東BBS会

会長 熱海 和奏



お世話になっております。北多摩東BBS会です。4月より新たに20名を超える学生が加入し、会員は約60名となりました。現在は、学習会や定例会、更生保護施設での活動、適応指導教室での学習支援など、従来の活動に意欲的に取り組んでおります。さらに従来の活動に加え、児童養護施設での交流や、母子生活支援施設での保育補助、居場所づくりを行う法人の見学など、生きづらさを抱える若者に対する新たな分野へも活動の幅を広げています。

10月には役員の引継ぎを予定しておりますが、新会員を含めた全員がより積極的に関われるよう努めてまいります。今後ともご指導ご支援のほど、よろしく願います。

第Ⅰ期 地域別定例研修について

第Ⅰ期は「対象者等との接触について」をテーマに実施しました。講師に立川支部主任保護観察官の樺澤貴子氏をお招きし、6月10日昼の部には20名、19日の夜の部には30名の参加者で、充実した研修と活発な意見交換がされました。研修内容は①保護観察における接触とは、②面接の位置づけ、③面接者の基本的な態度、④往訪来訪について、⑤面接時間等、⑥個人情報保護の取り扱いについて、でした。具体的な事例、解決法の丁寧な説明で、「わかりやすかった」「主任官と対象者のやり取りの話が参考になった」との意見が、終了後のアンケートで多数寄せられました。グループ討議



についてのテーマも「来訪が保たれていた少年が携帯電話に連絡してもつながらなくなりまし。どのような対応が考えられますか」や「保護司による初回面接の留意点は何ですか」といった身近な例により、アンケートでも「討議事項の選び方が良かった」「他の分区の保護司さんともコミュニケーションが深まった」などの好意的な意見が寄せられていました。

(研修部長 和田 俊彦)

今後の予定

第Ⅱ期地域別定例研修 「面接結果の記録化について」

▶ 1回目

日 時：10月29日(水) 15:00～16:30
会 場：三鷹駅前コミュニティセンター (4F)

▶ 2回目

日 時：11月13日(木) 18:30～20:00
会 場：国分寺市立 cocobunji プラザ (5F)

第Ⅲ期地域別定例研修 「4号保護観察対象者の処遇について」

▶ 1回目

日 時：令和8年1月28日(水) 18:30～20:00
会 場：三鷹駅前コミュニティセンター (4F)

▶ 2回目

日 時：令和8年2月6日(金) 15:00～16:30
会 場：武蔵野プレイス フォーラム (4F)

★保護司専用ホームページ「H@ (はあと)」によるフォローアップもあります★



「多摩地区保護司会連絡協議会 (多摩連)」HP
<https://www.bz-jpn.com/tamaren/>



「保護司つれづれ」HP
<https://tamaren-tsurezure.blogspot.com/>



2025年7月の日本社会福祉士全国大会は島根県で開催。出雲大社で「緑むすび」を祈りました



2025年7月の日本社会福祉士全国大会は島根県で開催。江戸時代から現存する松江城天守

私は「社会福祉士」という資格を持っています。ソーシャルワークを行う社会福祉士と保護司は、相手(対象者や利用者)との向き合い方が重なります。対象者は自分と異なる「他者」です。相手の感じていること、経験したこと、考えていること、悩み・苦しみ、希望、未来へ描く道のり、将来像、どれも自分のそれとは異なっています。そしてそれは他者である自分には完全には分からないものです。距離感をうまく保ちながら、信頼関係を紡ぎ、相手の生きる「世界」を知り、支えていきたいと思っています。これと近い話を多摩地区保護司会連絡協議会(多摩連)「保護司つれづれ」に寄稿しました。興味があればご覧ください。

コラム『窓』 国分寺分区 本多 勇
「他者」である対象者との、
関係構築の難しさ

武蔵野分区



管外研修 大阪刑務所



令和7年
7月29・30
日大阪へ研
修に行つて
来ました。

大阪刑務
所は大阪府
から和歌山
県にまたが
る境・岸和
田・丸の内・

田辺・新宮の5つの拘留所を所管する西日本最大の刑事施設です。現在は入所者1140名。収容対象は、再犯リスクの高い26才以上の成人男性受刑者及び男子外国人受刑者となっています。甲子園球場の約5倍の広さの刑務所の一部を案内して頂きました。

夕方から、暑い中、大阪万博会場へ移動しました。短い滞在時間でしたが、武蔵野市友好都市のルーミア館を見学いたしました。

二日目は、天王寺地区更生保護サポーターセンターを訪問しました。今後の保護司活動の参考になるような有意義な管外研修となりました。

(立川 八重子)

三鷹分区



管外研修 久里浜少年院

6月16日(月)、日帰り研修として保護司17名が久里浜少年院を参観しました。同院はペリー上陸の浦賀に近く、東京湾に面した埋立地にあります。施設には場所柄、万が一の津波・高潮といった災害から在院者を保護するため、ライフジャケットや非常食等の準備もされていました。

同院には参観日現在62名が在院しますが、特徴として非行の程度が重いくことや、在院者に外国人も含まれることが挙げられます。職業指導の一ツとして陶芸指導を実施しており、集中力や達成感など、出院後に必要な心構えや職業意識を養う矯正教育を導入して



いる点も印象に残りました。少年の更生と社会復帰について考えさせられる、有意義な研修となりました。

(富沢 武人)

ぶ ん く ト ピ ッ ク ス

小金井分区



管外視察研修

喜連川社会復帰促進センター



令和7年
6月26日
(木) 27日
(金) 栃木県
喜連川社会
復帰促進セ
ンターへ、
保護司7名・事務局1名にて訪問いたしました。

敷地面積42万5891㎡を有する広大な施設で、1956名の収容が可能ですが、特徴としては累犯受刑者・暴力団関係者を対象としない、軽度の身体障害(体の不自由な高齢受刑者含む)・知的障害・精神障害のある受刑者を受け入れています。そして改善更生・再犯防止への教育として、犯罪責任の自覚を促し、健康な心身を培い、社会生活に適應するのに必要な知識及び生活態度を指導するこのトレーニングプログラムやグループセッションを中心とした改善指導を行う取組が特徴でした。

(山本 雄二)

国分寺分区



管外研修 市原青年矯正センター



6月2日
から1泊2
日で千葉県
の市原青年
矯正セン
ターに研修
訪問しまし
た。参加者
は保護司10
名と事務局
2名の計12

名です。同センターは少年院を転用した全国初の施設で、初犯で知的障害を持つ26歳未満男子受刑者を対象。農業や紙袋製作などの職業訓練を通じ、個性に応じた支援が特徴です。部屋は無施設で「セミ開放施設」とし、協調性や社会性を育む工夫がされています。さらに、多職種が連携し一人に対して複数名が対応する体制を整えています。ビジネスマナーや剣道、書道など多様なプログラムがあり、家族参観も実施されています。特筆すべきは開所以来100%仮釈放を達成している点で、今後も継続した支援を目指す職員の熱意が印象的でした。

(林 博行)

第75回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

駅前広報活動



令和7年
6月28日午
前10時30分
から第75回
社会を明る
くする運動
をJR中央
線吉祥寺駅
と武蔵境駅
の周辺にて
啓発活動を
実施しまし

た。今年は天候が熱くなるということ
で少し早目になりました。

市長はじめ推進委員会の皆様、参加
された方々と声をかけながらうちわや
ティッシュ、リーフレット等を行きか
う方々に配布しました。立ち止まって
更生保護活動のことを聞いてくださっ
た方もいました。

今後各地域での夏祭りなどに参加し
て、広報活動を行う予定です。

(大久保 良子)

三鷹分区

駅前広報活動



7月1日
(火)、曇り空
ながら蒸し暑
い、午後4時
より、JR三
鷹駅南口、北
口周辺にて
「社会を明る
くする運動」
の駅頭広報活
動を実施いた

しました。三鷹市長をはじめ、三鷹警
察署他、合計15団体より81名が参加し
ました。中でも三鷹市立第四中学校よ
り参加された生徒たち(20名)には熱
心に団扇、ウェットティッシュ、しお
り等を配り、市民の方々への広報活動
をして頂きました。皆さんの見返りを
求めない、純粋な気持ちで活動する姿
には心を打たれるものがありました。
私も純粋な心を忘れがちですが、日々
精進し、犯罪のない街にするため、市
民の一人として協力していく事に心新
たにした一日でした。

(小野 純一)

小金井分区

駅前広報活動 小金井阿波おどり大会



7月26日
(土)、27日
(日)にJR武
蔵小金井駅に
おいて「第47
回小金井阿波
おどり大会」
が開催されま
した。2日間
で、2万5千
人もの来場者
が訪れ、小金
井の夏の風物
詩を楽しみま
した。

小金井分区では、7月26日(土)の
午後5時から6時まで「竹うちわ」
1,000本を配布し、社会を明るく
する運動の広報活動を行いました。小
金井分区保護司だけでなく、各関係団
体の方々も一緒に、来場者に声を
かけながら竹うちわを配ることができ
ました。酷暑の影響もあり、多くの方
に受け取っていただきました。

国分寺分区

ひまわり種まきとひまわり迷路



分区で取
り組んきた
「杜明運動」
として、今
年も協力者
の森田様の
畑をお借り
して、5月

14日に市立第五小学校の3年生95名と
推進委員の皆様がシンボルのひまわり
の種蒔きをしました。草取りも大変で
したが、今年も畑一面に見事なひまわ
りが咲きました。7月には保護司や推
進委員会の皆さんとひまわり迷路を作
り、子どもたちや地域の皆様にもひま
わり迷路を楽しんでもらっています。

この活動は、地域や学校と連携する
ことで子どもたちにとっても忘れられ
ない貴重な体験の場となっています。
「杜明運動」は犯罪や非行が起こらな
いよう、地域全体で子どもや若者の健
やかな成長を促すためにこれからも継
承すべき大切な活動となっています。

(宮崎 邦子)

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和七年九月一日発行

発行者
編集人

北多摩東地区保護司会
二瓶比呂子 電話〇八〇(三四八)三三三八

三鷹市

平和を願って残されたもの

三鷹市大沢に戦時中の高射砲台座4基が残されています。近くの調布飛行場を守る目的でした。元三鷹市長の鈴木平三郎氏は昭和32年にその高射砲台座を永久に保存できるように土地を買取り、その後社会福祉法人楽山会に寄付しました。同楽山会では保育園を経営しています。80年を経て平和を願う子供たちの声が聞こえてきます。



武蔵野市

中島飛行機武蔵製作所は、東洋一と言われ航空機エンジンの大工場で「零式戦闘機」や「一式戦闘機」(はやぶさ)のエンジンが製造された場所です。約56万平方メートルという広大な敷地内では、多い時で5万人が働いていました。

重要な軍事拠点であったことから大戦末期には米軍の攻撃目標になり1944年11月から1945年8月の間、計9回の空爆を受けました。



資料の出典・所蔵
米国立公文書館原蔵、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館提供

80年前の夏

国分寺市

戦時中、国分寺町(当時)でも各所に防空壕が作られ、空襲の被害を受けるなど、人々の日常は戦争と隣合わせでした。当時の日記には、「国分寺町は中央線と平行に北側がずっと(焼夷弾が)落とされて居て、畑の中にも時限爆弾が沢山落ちて居る(中略)四軒も焼けた」(昭和20年5月26日条)といった、生々しい状況が記録されています。



小金井市

80年前、戦争は小金井の暮らしにも深い影を落としました。空襲警報が鳴り響き、子どもたちは学業を離れて勤労動員へ。防空訓練や物資の配給が日常となり、市民は不安と隣り合わせの生活を送りました。現在、小金井市では戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを次の世代に「平和資料館」などを通じて、当時の記憶を未来へと語り継いでいます。



※広島で被爆したアオギリが芽吹き小金井駅北口で植樹したアオギリ二世です。

退任保護司

長い間お疲れさまでした。

松友 了氏(国分寺分区)

平成21年5月15日(在職16年)

◆新広報部員紹介

部長	二瓶比呂子(国分寺)
副部長	宮下みさ子(武蔵野)
会計	本多 勇(国分寺)
幹事	松尾 竜哉(武蔵野)
幹事	押野 功悦(三鷹)
幹事	加藤真由美(小金井)
幹事	長谷部豊子(国分寺)
幹事	安達 真弓(三鷹)
幹事	山本 年哉(三鷹)
幹事	河野 律子(小金井)
幹事	上柳 佳子(国分寺)

編集後記

新たな広報部会として、無事に第142号が発行できました。皆様に読んでもらうための紙面の工夫など、丁寧に編集していきたいと考えています。

ご寄稿いただきました皆様には、感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

(広報部員一同)